

平成 30 年度

財政援助団体等監査報告書

(伊那市観光株式会社)

伊 那 市 監 査 委 員

30伊監第34号
平成30年11月29日

伊那市長 白鳥 孝 様
伊那市議会議長 黒河内 浩 様

伊那市監査委員

登内 正史
北原 藤重
柴 満喜夫

平成30年度財政援助団体等監査の結果報告について

地方自治法第199条第7項の規定により、財政援助団体等監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により別紙のとおり報告します。

目 次

第 1	監査の対象	1
第 2	監査の実施期間	1
第 3	監査の手続及び着眼点	1
第 4	監査対象団体の概要	3
第 5	監査の結果	9

平成30年度財政援助団体等監査報告

第1 監査の対象

伊那市観光株式会社への、主に平成29年度における次の財政援助に係る出納その他の事務の執行、経営状況について監査を行った。

- (1) 出資団体及び公の施設の指定管理者 伊那市観光株式会社
- (2) 対象施設 羽広温泉みはらしの湯、羽広荘
- (3) 所管課 商工観光部観光課

第2 監査の実施期間

平成30年10月1日から平成30年11月28日

第3 監査の手続及び着眼点

観光課に係る事務の執行について、観光課から提出された資料及び提示のあった関係書類等に基づいて、質問その他必要と認めた監査手続を実施した。

伊那市観光株式会社（以下、「観光株式会社」という。）への出資に係る事業、また、羽広温泉みはらしの湯及び羽広荘の公の施設の指定管理に係る出納その他事業の執行、経営状況について、観光株式会社から提出された資料及び提示のあった出納関係帳票その他の関係書類に基づいて、帳簿突合、質問その他必要と認めた監査手続を実施した。

1 出資団体関係

(1) 所管課関係

- ア 出資目的及び出資金額等は妥当か。
- イ 出資金等の支出手続きは適正か。
- ウ 株式又は出資による権利は財産台帳に登録され、決算書類に適正に表示されているか。
- エ 株券等の保管は良好か。
- オ 出資者としての権利行使は適切に行われているか。
- カ 出資団体の経営成績及び財政状態を十分把握し、適切な監督を行っているか。
- キ 増資及び減資があるか。また、配当金は確実に収入されているか。

(2) 出資団体

- ア 定款(寄附行為)並びに経理規定等諸規定は整備されているか。
- イ 設立目的(出資目的)に沿った事業運営が行われているか。
- ウ 決算諸表等は法令等に準拠して作成されているか。

- エ 経営成績及び財政状況は良好か。
- オ 収益率、財務比率は良好か。また、人件費の内容、金額は事業規模に比し適切か。
- カ 関係帳票の整備、記帳は適切か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- キ 会計経理及び財産管理は適切か。
- ク 資金の運用は適切か。また、経費節減は図られているか。

2 公の施設の指定管理関係

(1) 所管課関係

- ア 公の施設の管理を行わせる団体の指定は、法、条例等に根拠をおいているか。
- イ 管理に関する協定等の締結は、適正に行われているか。
- ウ 条例やそれに基づく協定書等に沿って運営管理されているか。
- エ 指定管理者に対する指導監督は適切に行われているか。

(2) 指定管理者

- ア 施設は関係法令（条例含む）の定めるところにより適切に管理されているか。
- イ 協定等に基づく義務の履行は適切に行われているか。
- ウ 施設の管理に係る経理会計事務は適切に行われているか。
- エ 施設の管理に係る諸規定は整備されているか。
- オ 利用促進のための努力はなされているか。

第4 監査対象団体の概要

1 概要

- (1) 商号 伊那市観光株式会社
- (2) 本社 長野県伊那市下新田3050番地
- (3) 会社の設立 平成9年7月28日
- (4) 主要な事業内容
- ア 温泉浴場施設及びこれに付帯する施設の経営
 - イ 旅館、ホテルの経営
 - ウ めん類、パン、菓子、ハム・ソーセージ、ビール、果実酒、衣料雑貨品、民芸品の製造、加工、販売
 - エ まんじゅう、漬物など観光土産物の製造、販売
 - オ 食品、飲料水の販売及び食堂、土産品店の経営
 - カ 温泉水の販売
 - キ 公園、スポーツ施設及び遊園地等の経営
 - ク 酒類、タバコの販売
 - ケ 前各号に付帯する一切の業務
- (5) 株式の状況
- ア 発行可能株式総数 2,400株
 - イ 発行済株式の総数 600株
 - ウ 株主数 7名
- (6) 株主名

株主名	所有株式数	比率
伊那市	480株	80.00 <small>パーセント</small>
伊那商工会議所	20株	3.33 <small>パーセント</small>
アルプス中央信用金庫	20株	3.33 <small>パーセント</small>
伊那バス株式会社	20株	3.33 <small>パーセント</small>
上伊那農業協同組合	20株	3.33 <small>パーセント</small>
株式会社長野銀行	20株	3.33 <small>パーセント</small>
株式会社八十二銀行	20株	3.33 <small>パーセント</small>

- (7) 従業員数（平成30年3月31日現在）総数134人

施設名	従業員数(人)				
	正社員	嘱託社員	準社員	臨時社員	合計
本社	3	0	0	1	4
みはらしの湯	4	1	0	13	18
羽広荘	6	1	1	16	24
さくらの湯	2	2	0	11	15
高遠さくらホテル	11	1	1	20	33
仙流荘	2	0	0	15	17

入野谷	3	0	2	7	12
パンや	2	1	0	8	11
計	33	6	4	91	134

(8) 施設一覧

施設名	住所
羽広温泉みはらしの湯	伊那市西箕輪 3480 番地 1
羽広荘	伊那市西箕輪 3822 番地 30
羽広温泉スタンド	伊那市西箕輪 3900 番地 195
マレットパークはびろ	伊那市西箕輪 3822 番地 30
高遠温泉さくらの湯	伊那市高遠町西高遠 928 番地 2
高遠温泉スタンド	伊那市高遠町西高遠 810 番地 1
高遠グリーンパーク	伊那市高遠町長藤 6630 番地
高遠さくらホテル	伊那市高遠町勝間 217 番地
仙流荘	伊那市長谷黒河内 1847 番地 2
入野谷	伊那市長谷市野瀬 405 番地 1
伊那里体育館	伊那市長谷市野瀬 405 番地
パンや	伊那市長谷非持 1400 番地
気の里売店	伊那市長谷栗沢
西駒山荘	伊那市伊那 7119 番地 140
北沢峠こもれび山荘	伊那市長谷黒河内 黒河内国有林 270 口林小班
仙丈小屋	伊那市長谷黒河内 黒河内国有林 272 イ林小班
塩見小屋	伊那市長谷浦 浦国有林 66 口林小班

2 財務・営業の概要

観光株式会社第 2 1 期（平成 2 9 年度）事業報告書及び比較決算報告書によると、伊那市の補助事業により日帰り入浴 4 施設での入浴料を大人 600 円のところを減額して 500 円で営業し、入湯者数は増加した。減額分を補助金として翌月精算し、入湯税を差し引いた入湯売上高は過去 3 年間と比較し 12, 164, 165 円の増加であった。

しかし、最盛期の週末の天候不良で山小屋の利用客が減少したこと、高遠さくらホテルの改修工事などの影響により、観光株式会社全体の売上総利益は前期比 49, 255, 726 円の減収となった。販売費及び一般管理費を前期比 2, 138, 953 円減少させるとともに、伊那市へ支払うべき施設使用料 16, 795, 123 円が減免されたものの、営業損失は 41, 433, 106 円となり、前期比 47, 116, 773 円の減益となった。

この営業損失から営業外収益・費用を加除した第 2 1 期（平成 2 9 年度）経常損失は 37, 293, 077 円であった。

比較貸借対照表

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

資 産 の 部				
科 目	当 期	前 期	増 減	増減率
	円	円	円	%
【流動資産】	[89,003,984]	[142,580,045]	[△ 53,576,061]	[△ 37.6]
現金及び預金	62,021,142	102,034,445	△ 40,013,303	△ 39.2
売掛金	7,810,737	19,793,503	△ 11,982,766	△ 60.5
商品	3,134,708	2,833,622	301,086	10.6
食品材料	3,727,153	4,150,474	△ 423,321	△ 10.2
原材料	664,624	548,560	116,064	21.2
貯蔵品	8,408,347	7,889,723	518,624	6.6
前払費用	16,200	32,400	△ 16,200	△ 50.0
短期貸付金	1,596,000	3,192,000	△ 1,596,000	△ 50.0
立替金	573,870	1,090,093	△ 516,223	△ 47.4
仮払金	60,216	60,000	216	0.4
未収入金	1,014,487	1,004,425	10,062	1.0
貸倒引当金	△ 23,500	△ 49,200	25,700	△ 52.2
【固定資産】	[7,030,627]	[6,577,874]	[452,753]	[6.9]
(有形固定資産)	(6,756,417)	(6,303,664)	(452,753)	(7.2)
建物	857,456	1,044,568	△ 187,112	△ 17.9
構築物	666,824	764,345	△ 97,521	△ 12.8
機械装置	5	84,679	△ 84,674	△ 100.0
車輛運搬具	1	1	0	-
工具器具備品	4,879,524	3,763,440	1,116,084	29.7
一括償却資産	352,607	646,631	△ 294,024	△ 45.5
(無形固定資産)	(72,000)	(72,000)	(0)	-
電話加入権	72,000	72,000	0	-
(投資その他の資産)	(202,210)	(202,210)	(0)	-
預託金	202,210	202,210	0	-
資産の部合計	96,034,611	149,157,919	△ 53,123,308	△ 35.6
負 債 の 部				
科 目	当 期	前 期	増 減	増減率
	円	円	円	%
【流動負債】	[94,093,403]	[109,721,134]	[△ 15,627,731]	[△ 14.2]
買掛金	18,773,102	22,042,847	△ 3,269,745	△ 14.8
短期借入金	0	5,000,000	△ 5,000,000	皆減
未払金	18,883,462	26,707,416	△ 7,823,954	△ 29.3
未払費用	38,248,513	38,095,916	152,597	0.4
前受金	12,400	0	12,400	皆増
預り金	3,525,481	807,766	2,717,715	336.4
仮受金	159,120	1,000	158,120	15812.0
未払法人税等	202,500	202,500	0	-
賞与引当金	6,090,000	5,760,000	330,000	5.7
従業員未払金	118,625	120,989	△ 2,364	△ 2.0
入湯税預り金	4,595,100	4,451,100	144,000	3.2
未払消費税等	3,485,100	6,531,600	△ 3,046,500	△ 46.6
負債の部合計	94,093,403	109,721,134	△ 15,627,731	△ 14.2

資本の部				
科目	当期	前期	増減	増減率
	円	円	円	%
【株主資本】	[1,941,208]	[39,436,785]	[△ 37,495,577]	[△ 95.1]
(資本金)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)	-
資本金	30,000,000	30,000,000	0	-
(利益剰余金)	(△ 28,058,792)	(9,436,785)	(△ 37,495,577)	(△ 397.3)
利益準備金	867,000	867,000	0	-
別途積立金	50,000,000	50,000,000	0	-
繰越利益剰余金	△ 78,925,792	△ 41,430,215	△ 37,495,577	90.5
純資産の部合計	1,941,208	39,436,785	△ 37,495,577	△ 95.1
負債及び純資産の部合計	96,034,611	149,157,919	△ 53,123,308	△ 35.6

比較損益計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

科目	当期	前期	増減	増減率
	円	円	円	%
【純売上高】	[852,642,131]	[919,335,092]	[△ 66,692,961]	[△ 7.3]
入湯売上高	118,416,486	105,828,470	12,588,016	11.9
宿泊売上高	312,835,874	357,961,811	△ 45,125,937	△ 12.6
飲食売上高	184,940,686	202,838,968	△ 17,898,282	△ 8.8
販売売上高	205,512,884	221,535,179	△ 16,022,295	△ 7.2
婚礼売上高	5,094,630	4,530,800	563,830	12.4
その他売上高	23,941,074	24,617,183	△ 676,109	△ 2.7
マレット・パター売上	1,900,497	2,022,681	△ 122,184	△ 6.0
【売上原価】	[240,618,806]	[258,056,041]	[△ 17,437,235]	[△ 6.8]
期首棚卸高	7,532,656	8,096,734	△ 564,078	△ 7.0
商品仕入高	44,640,701	52,668,069	△ 8,027,368	△ 15.2
材料仕入高	193,228,777	202,891,032	△ 9,662,255	△ 4.8
婚礼仕入高	2,743,157	1,932,862	810,295	41.9
合計	(248,145,291)	(265,588,697)	(△ 17,443,406)	(△ 6.6)
期末棚卸高	7,526,485	7,532,656	△ 6,171	△ 0.1
売上総利益	612,023,325	661,279,051	△ 49,255,726	△ 7.4
【販売費及び一般管理費】	[653,456,431]	[655,595,384]	[△ 2,138,953]	△ 0.3
広告宣伝費	5,422,706	6,669,296	△ 1,246,590	△ 18.7
販売促進費	1,687,399	3,697,852	△ 2,010,453	△ 54.4
荷造運賃	6,485,391	9,118,859	△ 2,633,468	△ 28.9
役員報酬	930,000	1,590,000	△ 660,000	△ 41.5
正社員給与	134,412,875	121,027,809	13,385,066	11.1
賞与	12,854,868	13,529,440	△ 674,572	△ 5.0
退職金	1,939,000	2,384,000	△ 445,000	△ 18.7
パート社員給与	124,044,720	142,348,437	△ 18,303,717	△ 12.9
雑給	66,026	38,564	27,462	71.2
法定福利費	37,116,742	37,191,505	△ 74,763	△ 0.2
福利厚生費	3,333,879	3,727,802	△ 393,923	△ 10.6
賞与引当金繰入額	6,090,000	5,760,000	330,000	5.7
減価償却費	2,078,247	1,999,415	78,832	3.9
地代家賃	8,221	6,212,043	△ 6,203,822	△ 99.9
使用賃借料	2,071,158	2,024,969	46,189	2.3

科目	当期	前期	増減	増減率
リース料	3,452,525	3,827,985	△ 375,460	△ 9.8
修繕費	8,538,839	7,196,501	1,342,338	18.7
事務用消耗品費	1,946,268	2,029,762	△ 83,494	△ 4.1
消耗品費	30,281,520	33,679,138	△ 3,397,618	△ 10.1
水道光熱費	145,900,554	122,963,202	22,937,352	18.7
旅費交通費	7,833,923	8,122,280	△ 288,357	△ 3.6
手数料	9,985,608	8,677,518	1,308,090	15.1
租税公課	344,387	287,712	56,675	19.7
接待交際費	479,070	432,107	46,963	10.9
保険料	2,659,743	2,562,680	97,063	3.8
通信費	5,078,619	5,036,640	41,979	0.8
諸会費	3,290,135	3,377,918	△ 87,783	△ 2.6
車輛関連費	5,490,891	6,282,972	△ 792,081	△ 12.6
新聞図書費	669,862	632,888	36,974	5.8
貸倒引当金繰入額	23,500	49,200	△ 25,700	△ 52.2
会議費	9,899	7,547	2,352	31.2
貸倒損失	1,667	24,630	△ 22,963	△ 93.2
寄附金	20,120	4,110	16,010	389.5
管理諸費	10,331,563	10,374,908	△ 43,345	△ 0.4
施設管理費	40,939,887	42,098,299	△ 1,158,412	△ 2.8
少額資産費	0	242,000	△ 242,000	皆減
山荘委託費	37,546,139	40,248,786	△ 2,702,647	△ 6.7
研修費	56,578	48,057	8,521	17.7
雑費	33,902	68,553	△ 34,651	△ 50.5
営業損失	(41,433,106)	(△ 5,683,667)	(47,116,773)	(△ 829.0)
【営業外収益】	[4,140,029]	[1,331,567]	[2,808,462]	[210.9]
受取利息割引料	6,814	131,994	△ 125,180	△ 94.8
貸倒引当金戻入	49,200	23,100	26,100	113.0
雑収入	4,084,015	1,176,473	2,907,542	247.1
【営業外費用】	[0]	[11,051,845]	[△ 11,051,845]	[皆減]
支払利息	0	22,428	△ 22,428	皆減
雑損失	0	11,029,417	△ 11,029,417	皆減
経常損失	(37,293,077)	(4,036,611)	(33,256,466)	(823.9)
税引前当期純損失	(37,293,077)	(4,036,611)	(33,256,466)	(823.9)
法人税、住民税及び事業税	202,500	202,500	0	-
当期純損失	(37,495,577)	(4,239,111)	(33,256,466)	(784.5)

羽広荘 (千円)

	29年度	28年度	27年度
純売上高	119,667	130,287	125,532
売上原価	46,908	51,156	47,031
【売上総利益】	72,759	79,130	78,501
販売費及び一般管理費	87,047	82,694	86,700
【営業利益】	△ 14,288	△ 3,563	△ 8,199
雑損失		11,029	
【経常利益】	△ 14,156	△ 14,512	△ 7,996

みはらしの湯 (千円)

	29年度	28年度	27年度
純売上高	128,079	123,222	119,733
売上原価	26,747	30,997	25,817
【売上総利益】	101,333	92,225	93,917
販売費及び一般管理費	101,728	95,366	88,273
【営業利益】	△ 396	△ 3,141	5,643
雑収入	7	176	13
【経常利益】	△ 384	△ 2,960	5,668

	29年度	28年度	27年度
入湯売上高(千円) a	63,740	55,497	56,519
入湯者数(人) b	201,629	193,263	184,177
(a*1,000) ÷ b (円/人)	316.1	287.2	306.9

入湯料補助(千円)	28,768	-	-
-----------	--------	---	---

伊那市観光株式会社 (千円)

	29年度	28年度	27年度
施設使用料	16,795	17,559	39,121
施設使用料減免額	16,795	12,912	2,257

第5 監査の結果

1 出資団体に係る監査の結果

観光株式会社の事業運営は定款及び各規則に沿って行われており、事務処理については、概ね適正に処理されていた。ただし、経営状況について、監査資料の閲覧及び面接時の内容聴取により、実態の厳しさを確認した。以下の観光株式会社への指摘事項に関して、必要な措置を講じられたい。

- (1) 会社規模に見合った経理規定の再構築を行い、内部統制により全施設を組織的に経営できるよう改善を促されたい。また、定期的な予算の執行管理や事業計画の策定、実施、見直し改善について指導されたい。
- (2) 指定管理施設の長期修繕計画を作成し、保守、メンテナンスの効率化を図り、計画的な執行をされたい。
- (3) 施設使用料の減免の常態化が懸念される。市による施設使用料の減免は、相応の理由があったにせよ、企業経営としては好ましくない。市の経費の不測の負担が生じることの無いよう、経営改善を指導されたい。
- (4) 伊那市庁内プロジェクトにより観光株式会社を指定管理とする観光施設のあり方について検討がされているが、抜本的な経営改善につながる検討となることを期待する。
- (5) 住民福祉の側面を考慮しても、出資をしている伊那市の長が観光株式会社の長であることは適切でなく、伊那市長の兼務を解消されたい。

2 公の施設の指定管理者に係る監査の結果

羽広温泉みはらしの湯の事業運営は、「日帰り温泉施設・温泉スタンドの管理運営に関する協定書」、羽広荘の事業運営は、「保養センターの管理運営に関する協定書」に沿って運営されており、概ね適正に処理されていると認められたが、一部に検討、改善等を要する事項が見受けられたので、所管課も含め必要な措置を講じられたい。

- (1) 基本協定書第20条第1項第1号に定められた定期モニタリングのための月報が、業務を行った翌月の10日までに提出されていなかった。業務の適正を期するためにも期限内の提出を徹底し、合わせて経営状況の確認をし、適切に指導されたい。
- (2) 施設の修繕、更新は、指定管理者と所管課との役割分担を明確にし、計画的に行なわれたい。
- (3) 施設がより有効に利用されるためにはいかにすべきか、利用者の声や指定管理者総合評価表が管理運営面に反映されるように配慮され、市と指定管理者の密なる連携の下に、経営改善に努められたい。